

外科

愛媛大学外科の紹介

愛媛大学外科は、「消化管・腫瘍外科学」、「肝胆膵・乳腺外科学」、「心臓血管・呼吸器外科学」の3つの講座に、消化器外科・小児外科・肝胆膵外科・乳腺外科・心臓血管外科・呼吸器外科の6つの診療科があります。専門医制度には、愛媛大学外科全体が一つとなって取り組んでいます。愛媛大学外科専門研修プログラムは、最先端の外科治療と研究・教育を担う愛媛大学医学部附属病院が基幹施設となり、同様に先進的・高度な外科治療を行う県中核病院、救急も含めた手術症例の豊富な地域中核病院、様々な疾患を経験できる地方拠点病院などをローテーションし、外科診療に必要な専門知識と技能を効率よく習得し幅広い診療実績を積むことができるカリキュラムを準備しています。外科専門医は、その後のサブスペシャリティ専門医である消化器外科専門医、心臓血管外科専門医、呼吸器外科専門医、小児外科専門医などの専門医を取得する際に必要な基盤となる共通の資格です。

プログラムの目的と特徴

目的は、以下の6点です。①外科領域のあらゆる分野の知識とスキルを習得すること、②外科領域の臨床的判断と問題解決を主体的に行うことができること、③診断から手術を含めた治療戦略の策定、術後管理、合併症対策まですべての外科診療に関するマネジメントができること、④医の倫理に配慮し、外科診療を行う上での適切な態度と習慣を身に付けること、⑤外科学の進歩に合わせた生涯学習を行うための方略を習得すること、⑥外科学の進歩に寄与する研究を実践するための基盤を取得していること。

特徴は、愛媛大学病院を中心として愛媛県内のほぼすべての中核病院で研修が可能なプログラムになっていることです。愛媛県内の様々な地域で研修し、地域の実情に即した幅広い視野を身に付けることは、その後の外科医としてのキャリアに大いに役立つと考えられます。カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医習得に向けた技能教育を開始し、また大学院進学希望者には、臨床研修と平行して研究を開始することができます。

経験目標

手術経験：3年間で350例以上の手術手技（そのうち術者として120例以上）を経験すること

学術活動：日本外科学会定期学術集会への参加及び研究発表・論文発表等による20単位の取得

	専門研修1年目	専門研修2年目	専門研修3年目
習得目標	外科診療に必要な基礎的知識・技能	1年目で不足した領域の症例経験及び専門的な知識・技能	サブスペシャリティまたはそれに準じた外科領域全般の知識と技能
経験症例目標	経験症例150例以上 (術者40例以上)	のべ経験症例300例以上 (のべ術者100例以上)	のべ経験症例350例以上 (のべ術者120例以上)

指導医と指導体制

本プログラムでは、愛媛大学病院と連携施設（25施設）が専門研修施設群を構成し、75名の専門研修指導医が専攻医を指導します。愛媛大学外科の指導医は各診療科分野をご参照ください。

研修に関する行事

手術、外来診療（新規患者の対応、治療後の経過観察）、病棟回診（術前・術後管理）、各種検査（超音波・内視鏡・透視下）、カンファレンス（単科あるいは他科との合同）による知識・技能の習得など。

新専門研修プログラムについて

外科専門医は初期臨床研修終了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設（愛媛大学病院）及び連携施設でそれぞれ最低1年及び6カ月の研修を行います。プログラムの詳細は、専攻医と専門研修プログラム統括責任者、専門研修指導医らとの話し合いで決定します。3年間で地域の病院を含めて幅広い研修を行います。その際、研修内容と経験症例数に偏りや不公平がないように十分配慮します。また、希望や必要に応じて、救急科や麻酔科にローテーションして研修することも可能です。2023年度の募集専攻医数は9名でした。

<研修プログラムの一例>

	1年目	2年目	3年目	4年目
内容	愛媛大学病院 (1年以上)	連携施設 (6カ月以上)	愛媛大学病院／連携施設 大学院での研究／海外留学	

連携病院との連携について：専門研修連携施設

1	愛媛県立中央病院	10	十全総合病院	19	HITO 病院
2	松山赤十字病院	11	愛媛労災病院	20	愛媛医療センター
3	市立宇和島病院	12	済生会西条病院	21	興生総合病院
4	四国がんセンター	13	西条中央病院	22	総合病院回生病院
5	松山市民病院	14	市立大洲病院	23	住友別子病院
6	済生会松山病院	15	西予市立西予市民病院	24	JCHO 宇和島病院
7	済生会今治病院	16	南松山病院	25	四国中央病院
8	愛媛県立今治病院	17	渡辺病院		
9	愛媛県立新居浜病院	18	今治第一病院		

専門研修修了後について

専門研修修了後には、引き続き大学病院や連携施設のスタッフとして診療に従事したり、大学院での研究、海外の施設への短期・長期留学などへ進むことができます。

新専門研修の問い合わせ先

プログラム統括責任者：肝胆膵・乳腺外科学教授 高田泰次

電話：089-960-5327, FAX：089-960-5329, E-mail：egekasen@m.ehime-u.ac.jp

診療科ホームページ

消化管・腫瘍外科学：<https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/surgery3/>

肝胆膵・乳腺外科学：<https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/surgery1/>

心臓血管・呼吸器外科学：<https://www.m.ehime-u.ac.jp/school/surgery2/>